

平成31年・令和元年 呉市消防局管内の災害現況

火災

平成31年・令和元年中の呉市消防局管内の火災件数は75件（16件増）となりました。火災による死者は6人（4人増）で、負傷者は12人（9人増）となっています。また、火災の損害額は約4億7,000万円（約1,400万円減）で、そのうち建物火災における損害額は、約4億6,600万円（約1,300万円減）となっています。

注：()内は平成30年との比較

一火災種別ごとの状況一

火災件数75件は、過去10年間の平均件数（約78件）を下回る件数となっています。

火災種別ごとを見てみると、建物火災は44件（10件増）、林野火災は6件（3件増）、車両火災は5件（増減なし）、船舶火災3件（3件増）、その他の火災が17件（増減なし）となっています。



一出火原因別状況一

出火原因の第1位は「たばこ」で13件、第2位は「たき火」の9件、第3位は「放火」と「こんろ」が同件数で5件となっています。

また、建物火災44件の出火原因のうち、第1位は、「たばこ」で6件となっています。

出火原因の第1位の「たばこ」は、毎年高い比率を占めており、たばこによる火災の多くは、喫煙者の火気管理がしっかりしていなかった場合や不注意等により発生していると言えます。

たばこによる火災を防止するために次のことに留意してください。

- たばこの投げ捨てをしない。
- 寝たばこは絶対にしない。
- 火のついたままのたばこを放置しない。

一住宅用火災警報器の効果一

平成31年・令和元年中に呉市では住宅用火災警報器の鳴動により、火災に至らなかった事案が3件ありました。

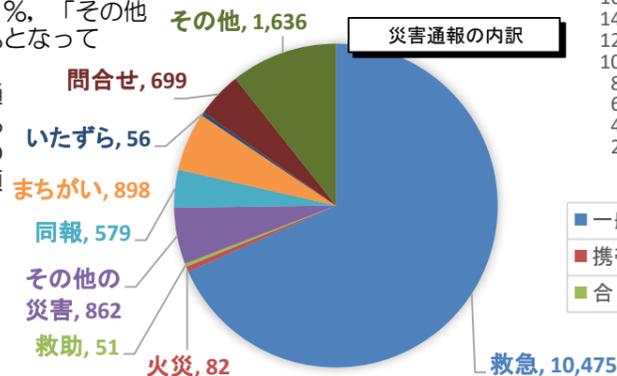
また、全国の住宅火災における被害は住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、大幅に火災による被害を軽減しており、住宅火災において住宅用火災警報器は高い効果があることが分かっています。

災害通報

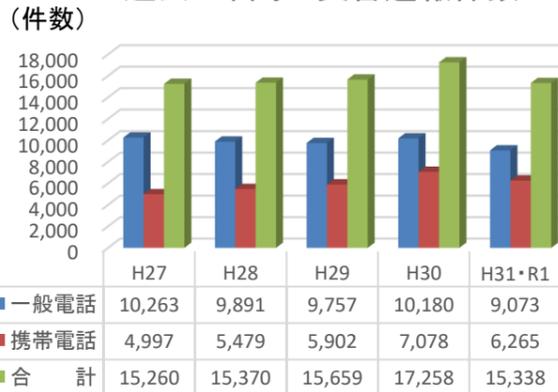
呉市消防局が受信した119番などの災害通報は15,338件で、前年に比べ1,920件減少しており、1日平均約42件、市民の約14人に1人が通報したことになります。

内訳としては、火災や救急に関する通報が最多で約69%、続いて、「問合せ」は、約5%、「その他」の災害は、約6%となっています。

携帯電話からの通報は全体の約41%で、通報全体に占める比率は近年増加傾向にあります。



過去5年間の災害通報件数



救急

平成31年・令和元年中の救急出動件数は10,835件（576件減）、また、搬送人員は9,690人（419人減）でした。これは、救急隊が1日当たり約30回、約48分に1回の割合で出動し、市民の約23人に1人が救急搬送されたことになります。

注：()内は平成30年との比較

一事故種別出動件数一

救急出動件数は、平成27年以降の減少となりました。

平成31年・令和元年中の事故種別のうち、高い比率を占めたのは急病の6,860件で全体の約63%を占めています。

次に、一般負傷が1,743件、続いて転院搬送が1,122件、交通事故が660件となっています。

また、救急車による搬送人員は9,690人でした。この中で、高齢者（65歳以上）の方が、7,011人と、全体の約72.4%を占め、年々比率が高くなっています。

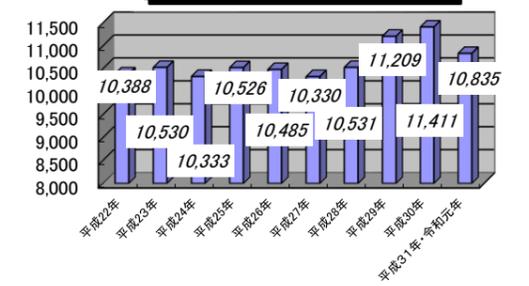
救急車の必要なケガや病気の中には、ほんの少しの注意や心がけで防げるものもあります。

家庭内での転倒防止や普段からの健康管理に注意しましょう。

●救急出動・搬送人員（傷病者のみ）

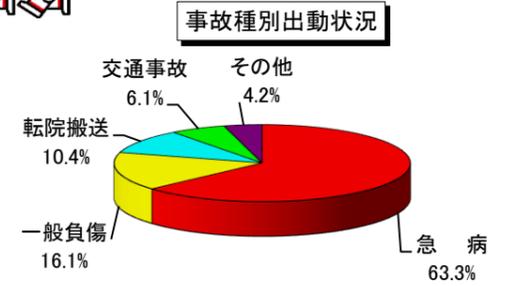
区分	平成31年・令和元年		平成30年	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
呉市	10,835	9,690	11,411	10,109

過去10年間の救急出動件数の推移



●事故種別出動件数状況

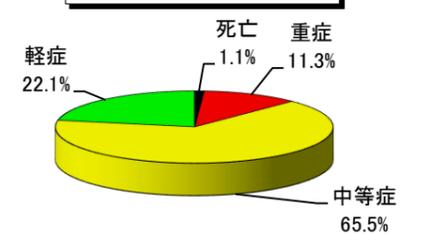
事故種別	平成31年・令和元年		平成30年	
	出動件数	比率	出動件数	比率
急病	6,860	63.3%	7,086	62.1%
一般負傷	1,743	16.1%	1,771	15.5%
転院搬送	1,122	10.4%	1,242	10.9%
交通事故	660	6.1%	746	6.5%
その他	450	4.2%	566	5.0%
合計	10,835	100.0%	11,411	100.0%



●傷病程度別搬送人員状況

傷病程度	平成31年・令和元年		平成30年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
死亡	106	1.1%	96	0.9%
重症	1,099	11.3%	1,258	12.4%
中等症	6,347	65.5%	6,445	63.8%
軽症	2,137	22.1%	2,310	22.9%
その他	1	0.0%	0	0.0%
合計	9,690	100.0%	10,109	100.0%

傷病程度別搬送人員状況



●年齢区分別搬送人員状況

年齢区分	平成31年・令和元年		平成30年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
新生児	15	0.2%	9	0.1%
乳幼児	278	2.9%	239	2.4%
少年	222	2.3%	224	2.2%
成人	2,164	22.3%	2,332	23.1%
高齢者	7,011	72.4%	7,305	72.3%
合計	9,690	100.0%	10,109	100.0%

年齢区分別搬送人員状況

